

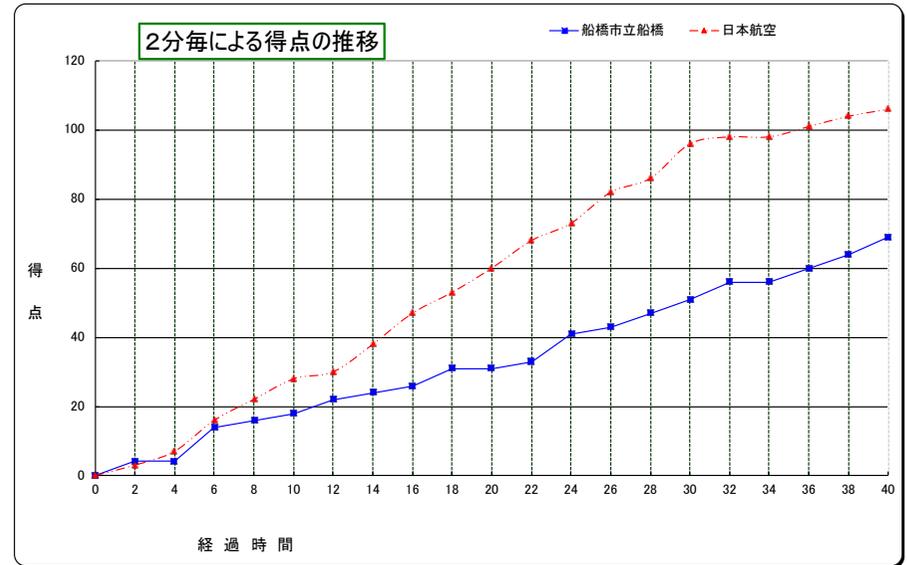
令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月3日(土)
深谷ビッグタートル
1回戦

チームA 船橋市立 船橋 (千葉)	69	{	18 13 20 18	1st 2nd 3rd 4th	}	28 32 36 10	106	チームB 日本航空 (山梨)
----------------------------	----	---	----------------------	--------------------------	---	----------------------	-----	----------------------

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
1	仲田 愛輝	12	1	8	4	11	1	3	3	3	3	1	4	0	4
3	菊田 瑛輝	18	2	3	6	22	0	0	1	5	7	2	1	1	1
4	露崎 健太	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
6	井ノ口 晴規	10	0	3	5	8	0	0	0	0	0	0	1	0	1
7	石渡 隼人	0	0	7	0	1	0	0	0	1	3	1	0	1	2
8	小泉 孝介	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
10	小沼 朋輝	0	0	0	0	1	0	0	2	0	2	0	1	0	2
12	白石 楓	23	1	6	8	12	4	5	2	3	6	3	2	0	5
15	金堀 洗希	0													
16	伊藤 悠真	0													
17	岩瀬 百々多	6	0	4	2	2	2	4	0	2	3	1	1	0	1
28	本多 琥太郎	0													
30	星野 智紀	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
31	小川 真広	0													
75	川崎 凱斗	0													
コーチ	星野 拓海														
		69	4	31	25	57	7	12	10	16	26	8	10	2	19
		確率	12.9%		43.9%		58.3%			計	42				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
0	西田 壮良	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	2
8	菅野 幸世	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
11	宮野 大知	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1
12	萩原 迅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	平林 凌大	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
22	望月 陽生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	オルウェルミ ジェラマイア	30	3	6	10	14	1	1	0	1	13	3	3	2	2
25	鈴木 漣	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	大道 一步	17	1	3	6	11	2	2	1	1	5	2	2	0	5
31	本郷 匠ノ奏	0													
34	久保田 楓羽	9	0	3	4	7	1	1	1	2	4	1	1	0	1
58	中西 哲太	7	1	10	2	2	0	0	3	0	2	1	2	0	1
77	高橋 蓮夢	13	3	8	2	3	0	0	1	0	1	1	3	0	1
78	齊藤 翔大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
99	三村 デール アンソニー	25	0	0	12	17	1	5	2	10	9	2	4	0	4
コーチ	山本 裕														
		106	9	34	37	57	5	9	10	14	38	11	15	2	18
		確率	26.5%		64.9%		55.6%			計	52				



戦評

第1Q、両チームともディフェンスをマンツーマンでスタートする。ペースを掴んだのは日本航空。#23の3Pを皮切りに、速攻からの得点でリードする。市立船橋は速い攻めから外角シュートを狙い、#1のジャンプシュート、3Pで応戦する。しかし日本航空は#23のアリウープからのダンクシュートで勢いに乗り、日本航空#30のドライブインシュート、ジャンプシュートでリードを広げる。

第2Q、日本航空ペースで試合は進む。日本航空#99がゴール下でねじ込み得点する。#77、#23のドライブインシュートでさらに勢いを増す。市立船橋も何とか食い下がる。市立船橋#3の3Pシュート、ジャンプシュートで得点するが、シュート確率が上がらず苦戦する。一方、日本航空は#23の内角におけるシュートでリードを広げる。

第3Q、何とか巻き返しをしたい市立船橋はディフェンスを2-3ゾーンディフェンスにして相手のオフENSEを封じようとする。しかし日本航空#99のゴール下での連続4ゴールを許してしまい、勢いを止められない。市立船橋#12、#3のジャンプシュートで応戦する。しかし日本航空のオフENSEを抑えることができず、日本航空#77の3P、#99のゴール下の得点を許してしまい、得点差が広がり第3Q終了。

第4Q、市立船橋はディフェンスでプレスをかけて点差を縮めようとするが、なかなか縮まらない。市立船橋#1のドライブインシュート、#17のレイアップシュートで得点するが、大量のビハインドを覆すことはできない。最終試合のペースを掴み続けた日本航空が勝利し2回戦進出を決めた。

文責: 柘木 毅

Ref	眞榮喜 工	1st U	本間 竜也	2nd U	神 魁杜
-----	-------	-------	-------	-------	------